

2020年度 決算のお知らせ

2021年7月21日に書面決議による組合会で決算および事業報告等について承認されましたので、概要をお知らせいたします。

健康保険

◆事業運営における基本方針

皆さまからお預かりした保険料を適切に活用し、次の基本方針等に基づき事業を運営しました。

- ①加入者のセーフティーネットとして生活の安定に貢献すること
- ②加入者の健康の保持増進に寄与すること

◆主なトピック

- 新型コロナウイルス感染拡大による影響で人間ドックやがん検診等の各種健康診断の受診率が低下しました。また、緊急事態宣言の発出に対応するため、健保として保健指導の実施を見合わせました。
- 厚生労働省の「スコアリングレポート」で、前年度に引き続き、健康状態等が良好との評価をいただきました。
- 「後期高齢者支援金の加算減算制度」*1において、前年度に引き続き、支援金の支払い額が減額されることになりました。
 - *1 厚生労働省が定めた指標により健保組合の活動状況を評価して、後期高齢者支援金を増額・減額するインセンティブ制度です。
- 国主導のICT施策に対応できるよう、被保険者証の記号・番号を変更し、あわせて被保険者証の更新を行いました。

◆決算の概況

収入は前年度から概ね横ばいでしたが、保険給付費および保健事業費が減額となったことで、収支差額は前年度を上回る約9億6千万円の黒字となりました。収支それぞれのポイントは以下のとおりです。

収入 加入者数が減少しましたが、標準報酬月額が前年度を上回ったため、保険料収入はほぼ横ばいとなりました。

支出 新型コロナウイルス感染症の影響で保険給付費と保健事業費が大幅な減額となりました。高齢者納付金*2は、前年度までの精算等の影響により前年度から大きな増額となりました。

この黒字額は法定準備金への積立の必要がないため、大半を別途積立金へ積み立てます。

*2 高齢者納付金は、全国の高齢者(65歳以上)の医療費を医療保険制度全体で支えるために健保組合で分担が必要な法定義務経費です。

単位:百万円

	2019年度	2020年度			対前年比
	実績	予算	実績	対予算比	
保険料収入(調整保険料含む)	6,014	5,952	5,972	20	▲43
別途積立金繰入	0	365	0	▲365	0
その他収入	165	76	182	106	18
収入合計	6,179	6,393	6,154	▲239	▲25
保険給付費	2,222	2,652	1,975	▲677	▲247
高齢者納付金	2,608	2,758	2,759	1	151
保健事業費	309	456	199	▲257	▲110
予備費	0	200	0	▲200	0
その他支出	253	327	259	▲68	6
支出合計	5,392	6,393	5,192	▲1,202	▲201
収支差額	787	0	963	963	175
被保険者数(名)	7,397	7,290	7,196	▲94	▲201
法定準備金残高	1,902	1,907	1,902	▲5	0
別途積立金残高	5,169	4,624	6,131	1,507	962
健康保険料率(%)	83.84	83.84	83.84	0.00	0.00

介護保険

介護保険については、増加する介護納付金に対応するため、保険料率を1.62倍(1.00%→1.62%)引き上げたことにより収支差額(決算残金)はほぼ前年度並みとなりました。この決算残金は法定準備金への積立の必要がないため、全額を2021年度へ繰り越します。

単位:百万円

	2019年度	2020年度			対前年比
	実績	予算	実績	対予算比	
介護保険料収入	467	732	767	35	300
その他収入	49	63	62	▲1	13
収入合計	516	795	829	34	313
介護納付金	455	771	771	0	316
その他支出	0	24	0	▲24	0
支出合計	455	795	771	▲24	316
収支差額	61	0	58	58	▲3
介護準備金残高	64	64	64	0	0
介護保険料率(%)	10.00	16.20	16.20	0.00	6.20